

乙第8号証

Jamieson (2002) (甲76の1) の部分訳文

1073 ページ、上段右「CONCLUSION」部分

ほとんどの女性は、夫の精管切除後に後悔を表明せず、後悔の可能性は不妊手術を受けた女性と同様であった。しかし、精管切除又は卵管結紮の前に女性と夫の間に大きな対立があった場合、その後の再建術を求める可能性が高まった。

上記翻訳者 こども家庭庁成育局母子保健課 大島 柊志